

令和4年度（2022）

学校関係者評価報告書

学校法人穴吹学園

専門学校穴吹ビジネスカレッジ

学校関係者評価報告書

学校法人穴吹学園 専門学校穴吹ビジネスカレッジ 学校関係者評価委員会は、令和3年度学校自己評価に基づく学校関係者評価を実施致しましたので、ご報告致します。

令和5年 3月 9日

学校法人穴吹学園 専門学校穴吹ビジネスカレッジ
学校関係者評価委員会

1. 学校関係者評価の目的

より実践的な職業教育の質を確保するため、教育活動の観察や意見交換等を通じて専門学校穴吹ビジネスカレッジの自己評価の結果を評価することを目的とした委員会を置く。

委員会は、専門学校穴吹ビジネスカレッジが行った教育活動及び学校運営の状況についての自己評価の結果を踏まえた本校の評価を行い、その結果を校長に報告する。

2. 学校関係者評価委員会

(委員)

水兼 博士	香川県立琴平高等学校校長
小川 幸彦	元高等学校校長
薦 真吾	株式会社J R 四国ホテルズ 事業統括部
市原 克美	ハウス美装工業株式会社 総務部
上枝 洋介	本校卒業生
ファム ホン クアン	本校卒業生
高木 知代	本校在校生保護者

(学校教職員)

篠原 達司	専門学校穴吹ビジネスカレッジ	校長
森川 和哉	専門学校穴吹ビジネスカレッジ	副校長
馬場 隆信	専門学校穴吹ビジネスカレッジ	教務部長
西山 幸弘	専門学校穴吹ビジネスカレッジ	教務課長
多田 洋子	専門学校穴吹ビジネスカレッジ	教務課長

3. 学校関係者評価委員会実施日時

開催日時 令和5年 3月 9日(木) 10:00~12:00

開催場所 学校法人穴吹学園 専門学校穴吹ビジネスカレッジ テクノホール

4. 自己評価結果の説明・報告(自己評価報告書参照)

当校の「教育理念」、「目的」及び「令和3年度の目標と計画」について説明。各自己評価項目について「評価結果(総括)」、と「取組状況とその分析」、「今後の改善方策等」について報告。書式は、香川県版一般社

団法人香川県専修学校各種学校連合会様式にて実施。

各評価項目について、「A」十分である 「B」おおむね十分である 「C」やや不十分である 「D」不十分である の4段階にて評価。

5. 校長より本校を取り巻く状況について説明

①卒業式

今年度はレグザムホールの大ホールに全員が入る形で執り行われる。

②就職状況

本校の就職希望者は全員内定した。

売り手市場のため、希望通りに進んだ学生が多い。

来年卒業予定の学生についても、県外有力企業から学校への声掛けがある。

6. 添付資料について説明

①自己評価報告書について

本校自身で行った自己評価について学校をサポートしている皆様から意見をいただきたい。

目標達成状況について各国家試験の合格率については目標を達成した。

卒業時アンケートで「総合的にいい学校だ」の割合70%は達成した。

○外部委員より意見・質問

①上枝委員

- ・報告書から重要な点をピックアップして説明していただいた方がいいのではないか。
 - ・当委員会の開催時期について、もう少し早い時期にしてはどうか。
- より効率的な議論ができるように改善する。

②市原委員

卒業生への動向調査はどのように行っているのか。

→3年間の定着状況を広報キャリアセンターが調査している。

③薦委員

昨今のホテル業界は人手不足である。要因としては定着率が低い事にある。

学生と業界とのミスマッチが起きないように業界のことを学生に紹介してほしい。

④ファム委員

日本で働く上でコミュニケーションは非常大切だと実感している。

留学生へは日本語会話の授業に重点を置いた方がいい。

→異なる文化に対応するために、日本の企業風土からビジネス会話まで授業を行っており、就職後の萎縮を防ぐようにしている。

⑤高木委員

卒業生への資格検定取得支援についてどのような取り組みか教えてほしい。

→学生の内定先企業と相談し、模擬問題の提供等を行っている。

貴重なご意見を賜り誠にありがとうございました。これからも皆様のご期待に添えますよう、教職員一同、日々努力して参りますのでよろしくお願い申し上げます。

以上